

冬のスキー場へ ドライバーの1日

この冬、ドライバーたちは、毎日スキー合宿の送迎業務に向かっています。
冬晴れの日々のスキー場では、澄みきった青空が広がり、屋根に雪を載せたバスの姿がひととき印象的に映えます。一方凍結した路面、急な天候の変化、降り積もる雪…
張り詰めた緊張感の中でも変わらないのは「安全第一」の想い。
ドライバーは安全を最優先に慎重にハンドルを握ります。
仕事が終わる頃にはスキー場によってはイルミネーションの光に包まれ、夜の静けさの中で光とともに浮かび上がるバスの姿は、1日の仕事を終えた安堵を映しているようにも見えます。

運行を終えたあとは、ホテルの温泉で身体を癒すひととき…
冷え切った身体を温めながら、又翌日に備えます。
雪と向き合い、人を運び、安全をつなぐ仕事。
この冬もドライバーたちは現場の最前線で、確かに旅を支えています。
今日も無事に、笑顔と安心を乗せて。



雪の先に、今日も安全な旅を

